## 巻末資料 1

地滑りの机上～現地調査チェックリスト

危害のおそれのある土地等の区域設定のための調査［区域設定前］
地滑りの基礎調査のチェックリスト
危害のおそれのある土地等の区域設定のための調査［区域設定前］
A．調査前準備

## 1．地形図の収集

1．DM $(1 / 2,500) \rightarrow$ 都市計画図 $(1 / 2,500) \rightarrow$ 都市計画図 $(1 / 10,000)$ で収集し基盤図とする。
2．既往資料の収集

- 1．地すべり危険箇所の場合，カルテを収集し対象範囲を確認したか。
- 2．地すべり防止区域の場合，施工図面等を収集し対象範囲を確認したか。


## 3．地形調査

1．既往資料で地滑りブロックの形状や地滑り方向，末端位置を確認したか。

- 2．空中写真で地滑りブロックの形状や地滑り方向を確認したか。
- 3．3次元地図で地滑りブロックの形状を確認したか。
- 4．現地調査時に問題となる点，確認すべき事項をリストアップしたか。


## 4．地質調査

－1．調査地の地質を既往資料，文献などで調べ，概ねの（1）単位体積重量（2）内部摩擦角を調べたか。 5．対策施設状況調査（対策工：有•無）
－1．対策施設の施工年度，工種，規模，事業種別について調べたか。
6．過去の災害履歴に関する調査（災害履歴：有•無）

- 1．発生年月日，発生時刻，発生位置について調べたか。
- 2．地滑りの規模（地滑りの長さ，幅，厚さ，面積等）について調べたか
- 人．人的被害の状況（死者•負傷者数），被災家屋の構造（木造•非木造），被災程度（全壊•半壊•一部損

壊）などを調べたか。

- 4．降雨量は地滑り発生までの連続雨量，最大 24 時間雨量および最大 1 時間雨量について調べたか。
- 5．伸縮計等の観測記録がないか調べたか


## B．現地調査

## 1．調査位置の確認

- 1．既往危険箇所，地すべり防止区域であれば標識によって調査位置を確認したか。
- 2．既往危険箇所，地すべり防止区域でない場合，周辺地形や建物配置等から調査位置を確認したか。


## 2．地形•地質調査

1．地滑りブロックの輪郭を調査し，頭部，左右側方部，末端部で地滑り地形の有無を確認したか。

- 2．地滑りブロックの滑動性を示す変状を確認したか。
- 3．地滑り方向を示すような滑動現象の有無は確認したか。
- 4．複数の地滑りが隣接する場合，それらの連動性について推定したか。
- 5．対象区域の地盤の状況や風化の度合いは確認したか。


## 4．下方の土地の調査

- 1．地滑り地塊の移動方向に影響すると判断される地形の有無や規模を確認したか。
- 2．明らかに土石等が到達しないと想定される地形の有無や比高を確認したか。
5．対策施設状況調査（対策工：有•無）

1．カルテに記載されている内容と大きく異ならないか確認したか。
2．カルテにない，または異なる施設があった場合はその状況を調べ，状況を確認できる写真を撮影した

- 3．概ねの構造寸法が確認できるようポールまたはスタッフを使用して写真を撮影したか。
- 4．施設の構造，材質は現地で確認したか。
- 5．対策施設の変状の有無を確認し，変状が認められた場合，地滑り滑動によるものか確認したか。
- 6．伸縮計等が設置され，現在も継続的に観測されていないか。
（伸縮計：有•無）


## 危害のおそれのある土地等の調査［区域設定後］

## A．調査前準備

1．危害のおそれのある土地の区域（以下，YZ）

- 1．設定したYZを住宅地図に転記したか。
- 2．YZ内の公共施設および公共的建物を把握したか。
- 3．警戒避難体制の整備状況を把握したか。
- 4．関係諸法令（災害防止，開発規制，土地の現状など）の指定状況を把握したか。

2．著しい危害のおそれのある土地の区域（以下，RZ）（ 設定：有•無）

- 1．設定したRZを住宅地図に転記したか。
- 2．RZ内の人家，公共的建物，公共施設を把握したか。


## B．現地調査

1．危害のおそれのある土地の区域（以下，YZ）

- 1．土地利用状況（新規住宅の有無，造成など）に変化がなかったか。
- 2．YZ内の人家戸数（共同住宅含む）を調査したか。
- 3．YZ内の公共施設の種類（道路，水路，鉄道など）およびその数と延長を調査したか。
- 4．YZ内の公共的建物とその内の災害時要援護者施設の種類•構造•名称を調査したか。
- 5．区域内の構造物による落差をポール，スタッフなどで確認し，その状況を写真撮影したか。
2．著しい危害のおそれのある土地の区域（以下，RZ）（設定：有•無）
－1．RZ内の人家戸数（共同住宅含む）を木造•非木造に区分して調査したか。


## 巻末資料 2

基礎調査•調書作成要領（地滑り）

土砂災害防止に関する基碇調査 地滑り編

| 栏式番号 | 名 称 | サイズ | 備考 |
| :---: | :---: | :---: | :---: |
| 表紙 | 位置，位置図 | A4横 | 公示圄書：位置图 |
| 嵄式0 |  | A4横 | 同一項目，関保诸等捌） |
| 様式1－1 | 公示履歴等 | A4横 | 皆所一括 |
| 様式2－1 | 地滑り区域の特定図 | A4横 | 地滑り区域每 |
| 檥式2－2（1）．（2） | 地形•地筧状況等 | A4䵊 | 地滑りブロック毎 |
| 㥞式2－3 | 過去の災害実態 | A4横 | ＂ |
| 様式2－4 | 瓷料調青結果図 | A4䵊 | 䇢所一括 |
| 椂式2－5 | 地形調査結果図 | A4横 | $\pi$ |
| 様式2－6 | 現地誠青結果図 | A4楥 | ＂ |
| 檥式2－7 | 场形及び入工構造物等の状況図 | A4横 | $\pi$ |
| 様式3－1 | 危害のおそれのある土地等の設定図及び建筧物に作用すると想定される隹撃に関する事項 | A4横 | 地渦，区域每，公示図書：区域図 |
| 機式3－1（広域げロック） | 危曽のおそれのある土地等の設定図（広域ブロック） | A4横 | 広域う＂ロック設定め場合 |
| 楼式3－1（1）（広域入口ック） |  | A4䵊 | 広垡フロック設定の場合 |
| 椂式3－2（1），（2） | 危書のおそれのある土地等の調査等 | A4楥 | 地滑り区域每 |
| 様式3－3 | 人家等（1）建筑楀造状況図 | A 横 | ＂ |
| 様式3－4 | 土地利用状況図 | A4横 | ＂ |
| 様式3－5 | 宅地開発の状況およひ建築の動向 | A4㣪 | ＂ |
| 樣式3－6 | 現地写真・スケッチチ等の位置図 | A4横 | \％ |
| 䨀式3－6（広域う可・ック） | 現地写直・スケッチ等の位惪図（広域う吅ック） | A4横 | 広域う或ック設定め場合 |
| 楼式3－7 | 現地写真・スケッチ等 | A4横 | 地滑り区域每 |
| 構式4－1 | 地滑り区域設定根樾 | A4横 | ＂ |
| 様式4－1（1）（広域ブロックク） | 圽滑り区域（広域ブロック）設定拫挟 | A4㯵 | 広域フ叫ック詵定の場合 |
| 様式4－2 | 危害のおそれのある土地等の誥定根招 | A4横 | 地渦り区域每 |
| 様式4－3 | 土石等が到这しないと認められる土圽の区域の談定回 | A4横 | $n$ |
| 檥式4－4 | 危害のおそれのある土地等の設定断面図 | A4䵊 | ＂ |
| 檥式4－5 | 著しい危害のおそれのある土地等の設定に関する計算結果 | A4横 | ＂ |
| 参考咨料 |  | A4横 | ＂ |

－様式 1－1
調査対象箇所を一括して作成する様式。
－様式2－1［記入する地滑りの単位：地滑り区域毎が基本］
様式 3－1 以降で設定される地滑り区域毎に作成する様式。複数の地滑り区域が設定される場合は複数枚で作成することが基本であるが，1枚で全ての地滑りブロックが表現可能であり，かつブロック名の判読が可能であれば 1 枚でも良い。
－様式 2－2，様式 2－3［記入する地滑りの単位：地滑りブロック毎］
地滑りを判読，特定した最小単位となる地滑りブロック毎に作成する様式。
－様式2－4～2－7
調査対象箇所を一括して作成する様式。ただし，図が小さすぎる場合は，複数枚に分割。
－様式 3－1 以降［記入する地滑りの単位：地滑り区域毎］
地滑りブロックを統合した結果に基づく，地滑り区域毎に作成する様式。

## 土砂災害防止に関する基礎調査（地滑り）

表紙 位遣．位置図

| 自然現象 | 種類 |  | （1） | 地滑り |
| :--- | :---: | :---: | :---: | :---: |
| 箇 | 所 | 番 | 号 | （2） |
| ○－○○ |  |  |  |  |
| 箇 | 所 | 名 |  | （3） |
| 所 | 在 | 地 | （4） | 埼玉県○○郡○○町○○ |
| 調 | 査 | 機 | 関 |  |



チェックポイント
（1）自然現象の種類が「地滑り」と記載されている。（土砂災害防止法においては，「地すべり」ではない） （2）箇所番号が正しく記載されている。
（3）箇所名が正しく記載されている。
（4）所在地が正確に記載されている。（大字•字のあり・なし，漢字等）
（5）左右の位置図に調查対象範囲が正しく示されている。
（6）左右の位置図と縮尺の整合がとれている。
（7）方位が明示されている。


チェックポイント
（1）地すべり防止区域に該当する場合は諸元が記載されている。
（2）地すべり危険箇所，危険地区，危険地の諸元が記載されている。
（3）使用した砂防基盤図の諸元が記入されている。

- 砂防基盤図の撮影•図化年度，種類等が正しく記載されている。
- 正式名称は「土砂災害防止法に使用する数値地図作成ガイドライン（案）第7版」等
（4）土砂災害警戒区域等の重複がある場合は，自然現象の種類ごとに箇所番号等が記載されている。


チェックポイント
（本様式は，様式2－2以降におけるインデックス図的な様式として取り扱うもの）
（1）図の体裁について
－地滑りブロックを統合して複合ブロックによる地滑り区域を設定した場合，その地滑りブロックを統合 したか分かりやすい図となっている。
－適度な縮尺で表示されている。図が小さすぎる場合は，複数枚に分割されている。
（2）図中に地滑り区域名が明記されている。
（3）方位，縮尺が明示されている。


チェックポイント
（本様式は，地滑りブロック毎に作成する）
（1）地滑りブロックについて作成され，複数ある場合は地滑りブロックごとに作成されている。
（2）資料調査結果で「有」の場合は，その内容が記載されている。
（3）明膫性の判定，滑動性の判定が地形調査•現地調査結果と整合している。また，判定の根拠が記載されて いる。
（4）地滑りブロックの形状，方向の設定根拠，下方の斜面の状況が記載されている。
⑤ランク区分が，明膫性の判定，滑動性の判定と整合している。

様式 2－2（2）地形•地質状況等

|  |  |  | り |  |  |  |  |
| :---: | :---: | :---: | :---: | :---: | :---: | :---: | :---: |
| 栐式2－2（2）地形•地筫状況等 |  |  |  |  |  | 掏直年度 | 平成○○年度 |
| 垉㜔りの位涪 | 朢所番号 | O－OO |  | 所在地 | 埼五県OO郡OO町OO |  |  |
| 垉㴆リブロック名 | OOa | 既柱訶 | 䓣リブロック | － | 递所区分 | 地すへり游止区域 |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
| その他雕査項目 | 兓認事项 | 判定相 |  |  | 特纪事項 |  |  |
| 地表水•地下水の状況 | 涌水 | 無 |  |  |  |  |  |
|  | 湿地－池•沼 | 無 |  |  |  |  |  |
| 植生状呮 | 主な榓生の種頝 | 広葉䊾，計葉楜など |  |  |  |  |  |
| 土地利用状呮 | 主な土地の種類 | 宅地•通路•林地 |  |  |  |  |  |
| 地形•地啠状涗 | 地㴆りの分類／種類 |  |  |  |  |  |  |
|  | 地倳り地塊の土䇤 | 永混り土砂 |  |  |  |  |  |
|  | 基㑨岩の地啠時代 | 中生代白亜紀 |  |  |  |  |  |
|  | 基轁地質名 | 三山屒 |  |  | 出典： 5 万分 | 地質图幅「 | 1．地啠調査所 |
|  | 基䇫岩の㮔類 | 襡岩，砂岩頁岩互裖 |  |  |  |  |  |
|  | 紏面の平均勾配 | $29^{*}$ |  |  |  |  |  |
|  | 地滑り方向に対する基盤岩の地質構造 | 不明 |  |  |  |  |  |
| 対策施設の状呮 | 変状の有無 | 無 |  |  |  |  |  |
| 特になし |  |  |  |  |  |  |  |
| (3) |  |  |  |  |  |  |  |

チェックポイント
（本様式は，地滑りブロック毎に作成する）
①地滑りブロックについて作成され，複数ある場合は地滑りブロックごとに作成されている。
（2）各記入欄が記載されている。
③ 「その他の特記事項」に様式2－1（1），（2）に書ききれない滑動兆候や聞き取り調査による情報，その他特筆 すべき事項などが記載されている。特にない場合は，「特になし」と記載されている。

様式 2－3 過去の災害実態


チェックポイント
（本様式は，地滑りブロック毎に作成する）
（1）様式2－1（1）の「災害履歴」が「有」のとき，同様式の災害履歴に応じた地滑りブロックの様式がある。 （災害履歴のある地滑りブロックと本様式の枚数が整合している。）
（2）記録等から確認できなかった事項は「不明」または「一」と記入されている。
③人的被害の状況が，被害がない場合は「0」と記入されている。
（4）「その他の特記事項」に様式 $2-3$ に書ききれない情報，その他特筆すべき事項などが記載されている。特 にない場合は，「特になし」と記載されている。
（5）災害履歴がない場合，履歴がないと一目でわかる記載がされている。


チェックポイント
（本様式は，地滑り箇所を対象に一括して作成することを基本）
（1）既往調查，観測等による平面図および地質調査断面図等が貼付されている。必要に応じて複数枚で作成さ れている。
（2）使用した報告書等の引用先が記載されている。
（例 ：地質調查報告書名，観則報告書名，地すべり危険箇所点検結果，地すべりカルテ，地すべり防止区域台帳，災害記録，工事記録•報告書名，研究報告名など）
（3）地滑りブロック名が判読できる状態である。資料が古い場合，可能な限り判読できるように加筆する。地巻末 2－8

様式2－5 地形調查結果図


チェックポイント
（本様式は，地滑り箇所を対象に一括して作成することを基本）
（1）空中写真判読図，地形判読図，3次元地形モデルを使用したブロック抽出結果図などが貼付されている。
（2）凡例に従った地形形状が記入されている。
（3）図中にブロック名が記入されている。
（4）方位，縮尺が明示されている。

様式2－6 現地調查結果図


チェックポイント
（本様式は，地滑り箇所を対象に一括して作成することを基本とするが，図が小さすぎる場合は，複数枚に分割）
（1）現地調査結果に基づく最終的なブロック形状で記載されている。
（2）凡例に従った地形形状が記入されている。特に地滑り地塊の明膫•不明膫，地滑り方向の滑動•滑動が碓認できない場合の表記がされている。
（3）地滑りブロックの頭部，側方部，末端部，移動方向の根拠となる地形状況等が記載されている。
（4）空中写真判読で抽出された地滑りブロックが現地調查結果で異なる形状となった場合，その根拠となる地形状況等が記載されている。
（5）方位，縮尺が明示されている。


チェックポイント
（本様式は，地滑り箇所を対象に一括して作成することを基本とするが，図が小さすぎる場合は，複数枚に分割）

①主に地滑り末端より下方の土地にある区域設定に影響を及ぼすような地形（小山，河川，渓流，対岸の逆勾配地形など）や地滑り方向を規制するような側方部の尾根や谷などの範囲が示され，その地形状況が記入されている。
（2）該当する地形がない場合は，その旨が記載されている。
（3）方位，縮尺が明示されている。

様式 3－1 危害のおそれのある土地等の設定図及び建築物に作用すると想定される衝撃に関する事項


チェックポイント
（本様式は，地滑り区域毎に作成する）
（1）設定された地滑り区域毎で作成され，複数ある場合は，区域の数に応じた枚数で作成されている。 （2）地滑り方向（滑動が確認できる・できない），特定境界線（確定•不確定）の表記がされている。 （3）端点が 4 つあり，適切な地点で設定されている。
（4）著しい危害のおそれのある土地の区域が設定されている場合は，表が添付され，想定される力の大きさの うち最大の数値および土石等の高さが表内に記入されている。設定されない場合は，表が省略されている。 （下表参照）

| 士石等の種動くより建薬物か地上部に作用すると想定される力 |  |
| :---: | :---: |
| $\begin{gathered} \text { カの大きさ } \\ \text { のうち } \\ \text { 最大のもの } \\ \left(\mathrm{kN} / \mathrm{m}^{2}\right) \\ \hline \end{gathered}$ | 土石等の高さ（m） |
|  |  |

⑤方位，縮尺が明示されている。


チェックポイント
（本様式は，地滑り区域毎に作成することが基本）
（1）土地利用が様式 3－4 の平面図と整合している。
（2）人家户数が様式 $3-3$ の平面図と整合している。
（3）公共的建物，災害時要援蒦者関連施設が様式 3－3 の平面図と整合している。
（4）危害のおそれのある土地の人家户数，公共施設，公共的建物は，著しい危害のおそれのある土地のものを含んた数量とされていない。（危害のおそれのある土地の面積については，著しい危害のおそれのある土地 の面積を含む）
（5）警戒避難体制に関する調查の項目が記載されている。

様式3－2（2）危害のおそれのある土地等の調査等

地滑り区 域 調 書

| 3－2（2）退害のおそれのある土地等の闽查等 |  |  |  |  |  | 調夌年度 平成OO年度 |  |
| :---: | :---: | :---: | :---: | :---: | :---: | :---: | :---: |
| 地滑りの位置 | 番号 | 0－00 |  | 䉥所名 | 听在垉 |  |  |
| 地滑り区域名 | 00 |  |  | B | 簠所区分 | 地すへり防止区域 |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
| 法律名 | 法梘制区域•地区 |  | 有無 | 考 |  |  |  |
| 碰防法 | 矽防指定地 |  | 有 |  |  |  |  |
| 地すべり等防止法 | 地すべり防止区域 |  | 有 |  |  |  |  |
|  |  |  | 舞 7 |  |  |  |  |
| 森林法 |  |  | 㑒 |  |  |  |  |
| 建篹基準法 | 焱害危険区域 |  | 無 |  |  |  |  |
| 宅地逸成等規制法 | 宅地造成工事規垩区域 |  | 無 |  |  |  |  |
| 主に土地の現状に閉する事項 |  |  |  |  |  |  |  |
| 法律名 | 法規揢区域•地区 |  | 有無 | 犕考 |  |  |  |
| 交計法 | 人口藮中地区 |  | 勧 |  |  |  |  |
| 主に建楽や開発の㲤向に関する事項 |  |  |  |  |  |  |  |
| 法律名 | 法規知区域•地区 |  | 有無 | 稫考 |  |  |  |
| 都市計画法 | 市街化区域 |  | 無 |  |  |  |  |
|  | 市街化調整区域 |  | 無 |  |  |  |  |
|  | 未採引き区域 |  | 無 |  |  |  |  |
|  | 準帮市計畺区域 |  | 無 |  |  |  |  |
|  | 風致地区 |  | 無 |  |  |  |  |
| 蜀䅎地域自立促進特别措粗法 | 過酭地域 |  | 有 | 旧○○村地区が挍当 |  |  |  |
| 殓合保粮地域整備法 | 特定地域 |  | 無1 |  |  |  |  |
| 自然公園法 | 国立公園 |  | 筬 |  |  |  |  |
|  | 蜀定公園 |  | 無 | 県立 00 公葍 |  |  |  |
| 県立自然公園条例 | 県立自然公園 |  | 有 |  |  |  |  |
| 都市縁地保全法 | 緑地保全地区 |  | 無 |  |  |  |  |
| 自然理境保全条例 | 嫄生自然瓄境保全地域 |  | 無 |  |  |  |  |
|  | 自然環 | 別地区 | 無 |  |  |  |  |

チェックポイント
（本様式は，地滑り区域毎に作成することが基本）
①法指定の「有無」が正しく記入されている。


チェックポイント
（本様式は，地滑り区域毎に作成することが基本）
（1）危害のおそれのある土地，著しい危害のおそれのある土地の範囲が様式3－1 と整合している。
（2）人家等の抽出もれがない。
（3）著しい危害のおそれのある土地内の人家等の建築構造の調査もれがない。
（4）凡例が急傾斜地の崩壊，土石流のものと同じである。
（5）方位，縮尺が明示されている。

様式3－4 土地利用状況図

地滑り区域調書


チェックポイント
（本様式は，地滑り区域毎に作成することが基本）
（1）危害のおそれのある土地，著しい危害のおそれのある土地の範囲が様式3－1 と整合している。
（2）オルソフォトを使用している場合，空中写真撮影後の現地の地形改変状況等が記載されている。
（3）方位，縮尺が明示されている。

様式3－5 宅地開発の状況および建築の動向

地 滑り区 域 調 書


チェックポイント
（本様式は，市町村単位で作成することが基本）
（1）人口の経年変化に数値が記入されている。
（2）都市計画区域の変遷に数值が記入されている。都市計画法の指定がない場合（なかった場合）は，「一」と記入されている。
（3）地価の経年変化に数值が記入されている。
（4）建築確認申請の状況に数値が記入されている。建築確認の申請の区分が不明の場合は，「一」と記入し，合計のみが記入されている。
（5）農地転用の状況に数値が記入されている。農地転用の申請がない場合（なかった場合）は「0」と記入さ れている。
（6）各項目の出典が記載されている。

様式3－6 現地写真・スケッチ等の位置図


チェックポイント
（1）様式3－7 の写真・スケッチ番号と整合している。
（2）方位，縮尺が明示されている。

様式3－7 現地写真・スケッチ等
地 滑 り区 域 調 書



チェックポイント
（1）添付した写真と整合する地滑り区域名が記入されている。
（2）地滑り箇所全体の状況がわかる写真が添付されている。（不可能な場合は全景的な写真が添付されている。）
（3）地滑り区域（または地滑りブロック）の頭部•左右側方部•末端部の写真が添付されている。
（4）対策施設がある場合，その状況を示す写真が添付されている。
（5）地滑り滑動か認められる場合，その根拠となる写真が添付されている。
（6）写真に地滑りブロックの輪郭，移動方向，ブロック名，河川の流下方向などが記載されている。

様式4－1 地滑り区域設定根拠
【単独の場合】

地 滑 り区 域 調 書

|  |  | O－00 |  |  |  |  |  |  |
| :---: | :---: | :---: | :---: | :---: | :---: | :---: | :---: | :---: |
| 地㴘りの位圄｜ | 所覓号 |  |  | 迷所名 |  | OO |  |  |
| 地沸り区域名 |  |  | OOA |  |  |  |  | 垉すべ佼此区域 |
| 地㴆リフロック㚜合 |  |  |  |  |  | 地倳少区场致定 |  |  |
|  | 無 |  |  |  |  | 地㴋り区域名 |  | 塭沢A |
| 㸻合する地渐りブロック名 | $\begin{array}{\|c\|c\|} \hline \text { ランク区分 } \\ \hline \end{array}$ | 圽偁りブロックの形状 |  |  | 地浰区域名 | 地絅区域の長さ L（ m ） |  | 244 |
|  |  |  |  |  |  | $\square$ | 地洓り区域の䍃 $\mathrm{W}(\mathrm{m})$ | 122 |
|  |  |  |  |  |  |  | 地偁りの洲動状呮 | 㴋助力幗きてををない |
|  |  |  |  |  |  |  | 詸断の根噱 |  hta． <br>  <br>  |
|  |  |  |  |  |  |  |  | 㖇定てきない |
|  |  |  |  |  |  |  | ＊門の根姺 |  |
|  |  |  |  |  |  |  | ランク区分 | в 6） |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |

【統合した場合】


チェックポイント
（1）設定された地滑り区域毎で作成され，複数ある場合は，区域の数に応じた枚数で作成されている。 （2）地滑りブロック名，地滑り区域名が前述の各様式の名称と整合している。 ③統合したブロックが，前述の各様式の平面図と整合している。
（4）地滑りブロックの統合がある場合，統合前の地滑りブロックの諸元が整理されている。
⑤地滑りブロックを統合した根拠が記載されている。
（6）地滑りの滑動状況，輪郭および末端部の明膫性とランク区分が整合している。

様式 4－2 危害のおそれのある土地等の設定根拠


チェックポイント
（1）地滑り区域毎に作成されている。
（2）地滑り区域の規模や層厚が様式 4－3，4－4 と整合している。
（3）地滑り層厚の設定根拠が記載されている。
（4）地滑り区域の地質状況の項目が記載されている。
（5）地滑り方向の設定根拠が記載されている。
（6）危害のおそれのある土地の区域設定に関する特記事項が記載されている。
⑦著しい危害のおそれのある土地が設定されている場合，規模や特記事項が記載されている。

様式4－3 地滑りが発生した場合において，地形の状況により明らかに地滑り地塊の滑りに伴って土石等が到達しないと認められる土地の区域の設定図


チェックポイント
（本様式は，地滑り区域毎に作成することが基本）
（1）凡例に従った表記がされている。
（2）明らかに土石等が到達しない土地の区域を設定した場合，地滑り区域毎に，その根拠が記載されている。 ③地滑り区域の寸法が記載されている。
④縦断および横断測線とその番号が記載されている。
（5）方位，縮尺が明示されている。


チェックポイント
（本様式は，地滑り区域毎に作成することが基本）
（1）縦断闵および横断図に想定されるすべり面が表記されている。
（2）危害のおうそのある土地の区域の範囲と長さが表示されている。
（3）著しい危害のおそれのある土地の区域が設定された場合，その区域の範囲と長さが表示されている。
（4）末端下方において，逆勾配地形により明らかに土石等が到達しない土地の区域が設定された場合，その設定根拠となる具体的な数値（すべり層厚などによる推定値など）が記載されている。
（5）様式4－3と断面図番号が整合している。

様式4－5 著しい危害のおそれのある土地等の設定に関する計算結果
【著しい危害のおそれのある土地の区域が設定されない場合】


チェックポイント
（1）著しい危害のおそれのある土地の区域が設定された場合，計算結果が記載されている。 （2）著しい危害のおそれのある土地の区域が設定されなかった場合，一目でわかる記載がされている。

【著しい危害のおそれのある土地の区域を設定する場合】


